

市川伸一先生のプロフィール

(東京大学大学院教育学研究科 教育心理学コース教授)

東京大学文学部卒業後、埼玉大学、東京工業大学を経て、現在、東京大学大学院教育学研究科教授を務める。認知心理学・教育心理学、認知言語論に基づいた学習過程の分析と教育方法の開発を専門とする。現代の教育問題を語る上でキーワードとなる『学力低下論争』など、著書も多数。

■職歴・経歴

1953 年生まれ。

1977 年 東京大学文学部卒業。

1980 年 同大学院人文科学研究科博士課程中退(心理学専攻)。

1988 年 文学博士。埼玉大学、東京工業大学を経て、1994 年より東京大学助教授。1999 年より現職。

所属学会に、日本心理学会、日本教育心理学会、日本認知心理学会、日本認知科学学会、日本行動計量学会、日本教育工学会、日本数学協会、各会員。

■主な役職

文部科学省・中央教育審議会初等中等分科会臨時委員(教育課程部会委員、中学校部会主査、企画特別部会委員)、「全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家会議」委員、日本学術会議連携委員、岡山県「学力・人間力推進会議」顧問、文京区・教育改革区民会議副主査(学力部会主査)、地域の学び推進機構会長等。

■著書

『学ぶ意欲とスキルを育てる—いま求められる学力向上策』

『学力から人間力へ』 『心理学って何だろう』 『学力低下論争』 『学ぶ意欲の心理学』

『心理学研究法入門—調査・実験から実践まで』

『勉強法が変わる本—心理学からのアドバイス』 等多数

